



下れない。右岸から捲く。下り終えて見上げると、左岸から登れるような気がした。しかしかなり微妙な感じである。

あとはもう平凡な河原歩きとなる。蛇籠でできた砂防ダムを越すと真名子川本流は間近であった。

[タイム] 下降開始(9:10)→右俣出合(9:45)→右俣終了(9:55)→左俣出合(10:00)→左俣終了(10:10)→下降終了(11:40)

### 真名子川支流口の沢(仮称)

1990年10月21日

10:50口の沢(仮称)源頭めざして下降開始。急斜面のやぶを下ると口の沢(仮称)源頭となる。この水源も落葉の下からしみ出る水であった。このあとすぐナメとなる。滝はどうかと期待して下ったら、出てきました30mの滝。上部はナメ状で、ブッシュをつかみながら下ったが、最後の15m程は懸垂下降ほかなかった。下りおえて振り返ってみると、左右から合流する支沢にも20mの滝がそれぞれかかっている。

20mクラスの滝が標高700m程の位置に必ず存在する。この沢も例外ではなかった。

[タイム] 下降開始(10:50)→下降終了(11:45)

### 真名子川支流ハの沢(仮称)右俣, 左俣

1990年9月9日

真名子川林道の終点にて仮眠。午前7時より行動開始。林道は、地図にあるより奥、ハの沢(仮称)出合の少し先まで入り込んでいた。

